

令和元年 9月 4日

組合員・青年部会員 各位

協同組合島根県鐵工会
島根県中小企業団体中央会

自社の事業価値を認識し、5～10年後の 自社のビジョンを立てるワークショップ

【ご案内】

(業界別持続化支援事業)

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当組合の運営に格別のご配慮をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、当組合では島根県中小企業団体中央会と連携し、今年度、組合員の皆様の人材確保・定着に寄与すべく、“外国人高度人材雇用”の支援事業を実施しております。

外国人材とのマッチングにより雇用に至った後の、その企業にて長く“定着・育成”が重要であり、“自社の将来ビジョンに沿った人材育成”が大事と思われれます。

併せて、企業が今後も長く継続するには、経営者から後継者への事業承継が避けて通れず、その中で、経営者・後継者の方々に“自社の事業価値を認識いただいた際の将来ビジョンの策定”が重要と考えられます。

上記のことを踏まえ、外国人雇用に興味をお持ちの組合員様、そして青年部の会員様を対象に、別紙のように“自社の事業価値を認識し、5～10年後の自社のビジョンを立てるワークショップ”を開催します。

お忙しい時節柄、誠に恐縮ですが、ぜひご参加下さいますようお願い申し上げます。

別紙の参加申込書を、9月24日(火)までに島根県中小企業団体中央会へ、FAXにてお送り下さい。

敬具

(お問い合わせ先)

協同組合島根県鐵工会 総務部 (TEL) 0852-24-2156
島根県中小企業団体中央会 雇用対策課 (TEL) 0852-21-4809

(協) 島根県鐵工会 業界別持続化支援事業

自社の事業価値を認識し、5～10年後のビジョンを立てるワークショップ

- 目的：・自社ならではの事業価値（強み）を認識し、“自信”を持っていただく。
（ワークショップを通して、自社の事業でのこだわり・他社との違いによる強みを認識していただく。）
・5～10年後の自社のビジョン（方向性）を立てていただく。
（専用ツールを活用し、自らの手でビジョンを立てていただく。）

※貴社の内外に、貴社の考えをアピールする貴重な資料作成につながります。

時期：10月～11月（月に1回のペースで2回実施）
（次回）10月 1日（火） 13時30分～16時30分
11月の日程は改めて調整の上、設定します。

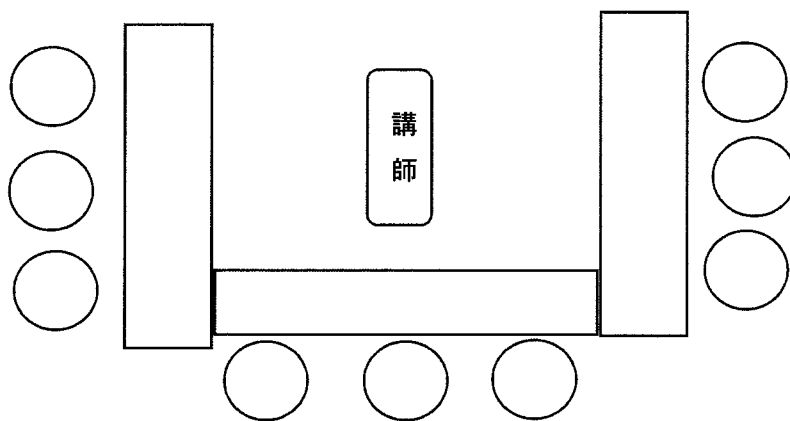
会場：松江（協）島根県鐵工会 会議室（松江市西津田一丁目9番50号）

対象：(協) 島根県鐵工会の組合員企業 約10社を予定

形式：集合研修+ワークショップ（企業ごとに専用シートの作成を支援）

コの字型に机を配置し、コの字の外側に参加企業の方に2名・2名・2名又は3名・3名・3名で着座していただき、専門家（講師）がコの字型の中に入って複数人数を指導するかたち。…個別対面ワークショップを集合型で実施。

（レイアウト）



※様々なフォームを使い、専門家の指導を受け、参加各社で自社についてお考えの上で作成いただきます。

ご参加の際は、別紙のフォームに貴社について思うところをご記入いただき、ご持参下さい。（ワークショップ当日に使用します。）

講師：合同会社ゆわく 大山雅己氏（中小企業基盤整備機構 専門家）
（島根県中央会指導員がフォローする考えです。）

FAX この参加申込書を、下記へFAXにてお送り下さい。(締切：9/24)

島根県中小企業団体中央会 0852-26-5686

自社の事業価値を認識し、5～10年後の
自社のビジョンを立てるワークショップ

【参加申込書】

日時：10月 1日(火) 13時30分～16時30分

会場：(協)島根県鐵工会 会議室(松江市西津田一丁目9番50号)

・組合員企業名 _____

・参加者

役 職	氏 名

(連絡担当者名) _____ (TEL) _____

(e-mail) _____

(※ご記入の内容は、当組合及び島根県中小企業団体中央会にて責任を持って管理します。)

※ご参加の際は、別紙のフォームに貴社について思うところをご記入いただき、ご持参下さい。(ワークショップ当日に使用します。)

※ご参加の際は、このフォームに貴社について思うところをご記入の上、ご持参下さい。(大雑把でも構いません)

【自社の核となる思い】 「

業務の流れ（業務工程の流れ）とそれぞれの工程において以下の観点から「工程内容」と「心がけ」「思い」「誇り」「強み」「課題」等を書き出してください。(手書きで可)

1：「i 工程で心がけていること」「ii 工程に取り組み際の思い」 など

* 自己満足となることでも構いません。ここでは社内における後工程や顧客がどう評価するかではなく、自社・自部門としてはということで構いません。

視点の例：“業務部署内の後工程の仕事に対して”、“会社の中での次の工程（他部署に仕事を納める）上で”、“納め先の顧客に対して” 等

2：「i 業務の仕方として誇りを持っていることや技術」「ii 他社と比較して強みとなっていること」「iii 工夫していること」「iv 課題」 など

業務の流れ プロセス	① () →	② () →	③ () →	④ () →	⑤ () →	顧客に提供 している価値
i 心がけていること						
ii 取り組む際の 思い など						
i 業務の仕方 として誇りを 持っているこ とや技術等						
ii 強みとなっ ていること						
iii 工夫してい ること						
iv 課題 など						

その他 部署において心がけていること、部署全体として誇りに思っていること、こんな人材がいる（人）、こんな技術がある（人・組織）、こんな雰囲気が出てくる（文化）・こ
んな人づくりをしている（教育・人づくり）、仕事の仕組み作り（仕組み・枠組み）をしている、こんな関係者に恵まれている（恵まれていない）・外部の連携先・顧客がいる（支えられてい
る）など、広く会社全体を見渡しての役割発揮していること、あるいは課題として認識していること（こうなればいいなということ等）を以下に自由形式で書き出してください。